

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (C)

「トランプ政権期の米中関係におけるメディアの役割」

研究代表者：市 川 絃 子

本研究は、トランプ政権期以降の米中関係とメディアの役割を検討するものである。具体的には、新型コロナウイルス (Covid-19) 流行時期の前後 (2019 年 11 月 ~2021 年) に、米中関係にまつわる事象を、米国メディアがオンライン版ニュースにおいて、どのように報道し、国内外のオーディエンスの言論空間を創り出そうとし、両国関係に影響しているのかを検討し、1972 年の米中国交回復以後の両国関係における最大の転換期の実態を、実証的な資料をもとに明らかにする。

対象とするメディアは、ウェブ会員数の多い民間メディア [ニューヨーク・タイムズ (New York Times)、ワシントン・ポスト (Washington Post)、フォックス・ニュース (Fox News)] や、米国政府の声を代弁する VOA (Voice of America) とする。

研究方法は、上記の米国メディアの一次資料に当たりつつ、関係者への聞き取り調査の実施という手法をとることにした。ただし、今年度は新型コロナウイルス流行の影響等により、調査の進行に遅れが生じている。来年度以降は、当初の研究計画を変更しつつ、遅れを取り戻したい所存である。